

「一般国道375号（大内通り）歩道リニューアル修繕工事」に伴う満足度調査（アンケート調査）

平成31年1月 広島県北部建設事務所

アンケート調査の目的とお願い

平素より、広島県の土木行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

一般国道375号歩道リニューアル修繕工事は、「かくたに接骨院」角の交差点から太才町交差点間の延長約800メートル区間を対象に、平成26年度に地元の方のご協力を得ながら実施計画(※)を作成しました。その後、詳細設計を経て平成27年度から工事を進めておりましたが、三次もののけミュージアム建設地付近の工事を残し、ほぼ完成いたしましたのでご報告します。

北部建設事務所では、今回の工事に係る取り組み事例を、今後の業務の参考にしたいと考えています。つきましては、**下記のアンケート調査に必要事項を記入の上、同封の返信用封筒により1月31日までに返信いただきますようお願いいたします。**（本調査票のみ返信願います） アンケート調査の結果は、とりまとめ後、北部建設事務所のホームページに掲載します。

※ 実施計画の詳細内容は、別紙の参考資料又は北部建設事務所のホームページをご覧ください。 北部建設事務所のホームページはこちら → <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/219/>

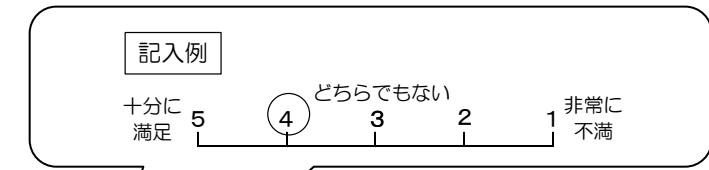
Q1 あなたの性別について、あてはまる番号に○印をつけてください。

1. 女性 2. 男性

Q2 あなたの年齢について、あてはまる番号に○印をつけてください。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

Q3 次の実施項目に対する、あなたの満足度について、あてはまる番号に○印をつけてください。



項目	具体的な実施内容	満足度	よろしければ、左の評価の理由をご記入ください
1	歩道形式	歩道と車道の段差を無くして、できるだけフラットな形状にしました。	十分に満足 5 4 3 2 1 非常に不満
2	歩道と車道の分離方法	運転者に注意を促すため、歩道のカラー舗装、疑似縁石、減速破線、道路鋸、車が走行中に踏むと音が鳴るリブ(凹凸)の設置、また、積雪時の視認性を高めるラバーポールを設置しました。	5 4 3 2 1
3	排水対策	車の水跳ねを抑えるため、車道には排水性舗装、歩道には透水性舗装を行い、雨水を路面に浸透させる舗装にしました。	5 4 3 2 1
4	歩道内の水路蓋	歩きやすくするため、スチール製の透水蓋に取り換えた後、その上に透水性舗装を行い、蓋を隠して路面の凹凸をなくしました。	5 4 3 2 1
5	交差点部や横断歩道	カラー舗装により歩道や交差点を目立たせました。小学校前交差点のコーナーの歩道と車道との境界ブロックを、今の直線から曲線カーブに改めて歩道(滞留スペース)を広くしました。	5 4 3 2 1
6	道路照明	道路照明がない横断歩道に道路照明を設置しました。	5 4 3 2 1
7	その他電柱類の移転	通行に大きな妨げになっている電柱類について、管理者と協議しながら移設しました。	5 4 3 2 1
8	歩道橋の再塗装	歩道橋の補修を行い、再塗装をしました。	5 4 3 2 1
9	歩道橋へのパネル設置等	小学生に描いていただいた絵をパネル化し、歩道橋に設置しました。また、小学生に交通安全に関する標語を募集し、車から見えるよう歩道橋に大きく書きました。	5 4 3 2 1

Q4 今回の工事に対するご意見・ご感想をお聞かせください。

問い合わせ先

広島県北部建設事務所
事業調整・土砂法指定推進班 平田
電話 0824-63-5181(内線 3430)

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

一般国道375号(大内通り)の歩道リニューアル修繕工事について

◆要旨

広島県では、三次市三次町内を通る一般国道375号の歩道リニューアル修繕工事を行いました。
現道内での修繕工事であり、設計上の工夫の余地が考えられるため、地元の方の協力を得ながら、実施計画を作成しました。
(平成26年11月)

◆歩道リニューアル修繕工事の目的

○歩道の安全性・快適性を速やかに向上させるため、歩道の修繕工事を行いました。
○当該区間は、都市計画道路として位置付けられていますが、今回の修繕工事は、車道と歩道の幅の構成は現状を維持し、現道内で整備しました。(拡幅工事ではありません。)

◆対象区間

○対象路線：一般国道375号(大内通り)
○対象区間：三次市三次町「かくたに接骨院」角の交差点～太才町交差点間の延長約800メートル



◆実施計画作成までの流れ

【整備の原案(地元案)作成】

三次地区自治会連合会・学校・PTA関係者の皆さんで、検討会を2回行って頂きました。1回目の検討会では、当該道路の現状の課題を検討会の皆さんで共有され、整備の方向性を話し合ってくださいました。2回目の検討会では、1回目の検討会で話し合われた整備の方向性に基づき、この下の表に挙げている項目について話し合いを行い、整備の原案(地元案)を作成して頂きました。

検討した項目	整備の原案(地元案)
歩道形式	歩道と車道の段差を無くして、できるだけフラットな形状にする。
歩道と車道の分離方法	歩道のカラー舗装化、疑似緑石、減速破線、道路紙や、車が走行中に踏むと音が鳴るリップ(凹凸)を設置することによって、運転者に注意を促す。
排水対策	車道は排水性舗装、歩道は透水性舗装。これにより、雨水を路面に浸透させて、車の水跳ねを抑える。
歩道内の水路蓋	蓋はスチール製の透水蓋に取り換え、その上に透水性舗装をすることで、蓋を舗装の下に隠す。これにより、路面の凹凸をなくし、歩きやすくする。
交差点部や横断歩道	カラー舗装で、歩道や交差点を目立たせる。 三次小学校前交差点のコーナー部は、車道と歩道の境界に設置しているブロックを、今の直線から曲線カーブに改め、歩道(滞留スペース)を広くする。
道路照明	道路照明がない横断歩道部(2箇所)に道路照明を設置する。
その他	歩道内の電柱類を可能な限り移設する。

検討会の様子



【実施計画の作成】

上記の地元案を基にして、県において検討し、三次市役所や警察との協議を踏まえて、県として実施計画を作成しました。

項目	実施計画の内容
歩道形式	地元案と同じ
歩道と車道の分離方法	地元案に、積雪時の視認性を高めるためのラバーポールを追加
排水対策	地元案と同じ
歩道内の水路蓋	地元案と同じ
交差点部や横断歩道	地元案と同じ
道路照明	地元案と同じ
その他	電柱類のうち、通行に大きな妨げになっているものについて、管理者と協議しながら検討

【参考資料】本資料の内容は、地域の皆さんと作成した実施計画の概要です。

広島県北部建設事務所のホームページを抜粋したものです。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/219/20141110.html>

◆歩道リニューアル修繕工事の整備イメージ

①一般部の標準断面図と整備イメージ(写真は小学校付近)

【整備前】

- 横断歩道前後にトリックアート(疑似緑石)を施工し、注意を促す。
- 歩道と外側線(白線)の間にリップ(凹凸)を設け、注意を促す。
- 水路：水路蓋を透水蓋に取り換え、その上に透水性舗装を施工することで歩道の凹凸をなくし、歩きやすくする。
- 概ね24m毎にラバーポールを設置し注意を促す。
- 8m毎に埋込式自発光道路紙を設置し注意を促す。

【整備後イメージ】

- 歩道橋について、部分的な補修と再塗装を行う。
- 歩道と車道の段差をできるだけ解消し通行しやすくする。
- 減速破線を設置して速度を抑制する。
- 車道：排水性舗装で、雨水を浸透させ、歩道への水はねを軽減する。
- 歩道を緑色のカラー舗装として、視認性を向上させ、注意を促す。

②交差点部の整備イメージ(写真は三次小学校前交差点)

【整備前】

- 隅を丸くして、歩道を広げ、歩行者の滞留スペースを確保する。歩車道境界ブロックを配置して、車の巻き込みを防止する。
- 横断歩道に青色のカラー舗装をして、視認性を向上させ、注意を促す。

【整備後イメージ】

- 道路照明を新設する。
- 交差点：赤色のカラー舗装をして、視認性を向上させ、注意を促す。

※信号柱の移設については、警察と協議しながら検討する。